

## 会 議 録

議 題	令和4年度第1回大垣市文化財審議会		
日 時	令和5年2月6日（月）	場 所	大垣市役所6階教育委員会室
	13：30～15：20	事務局	教育委員会事務局文化振興課
出席者 (欠席者)	<p>&lt;文化財審議委員&gt;  稲葉 伸道委員、岩田 敏也委員、岡田 吉孝委員、井上 瞳委員  梶原 義実委員</p> <p>&lt;事務局&gt;  細江 敦教育長、宮内 幸三文化振興課長、高田 康成文化振興課主幹、  田中 一輝文化振興課主任、川元 彩文化振興課主事、田口 裕貴文化  振興課主事</p> <p>寺嶋 太志教育委員会事務局長（欠席）</p>		
傍聴者数	0人	記録方式	全文・ <u>要約</u>
【発言】			
事務局	<p>1 開 会</p> <p>議事進行までの司会を進行</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>これよりの議事進行は、会長が務める。  （会長より冒頭のあいさつ後、議事へ）</p>		
会長	<p>本審議会は、大垣市情報公開条例の規定に基づき、本日の会議を公開とする。</p> <p>※本日は傍聴希望者なし。</p>		
事務局	<p>3 議 題</p> <p>(1) 大垣市指定文化財の指定について</p> <p>重要文化財(彫刻)「木造阿弥陀如来立像」の指定について概要を説明。</p>		
委員	<p>調査に立ち会ったが、上品で平安時代の貴重な仏像である。私からもすすめたいものである。</p>		
会長	<p>文献では江戸時代までしかさかのぼることができず、江戸時代初期の</p>		

新田開発の時にできた説教所に置かれていた仏像であるということまでが分かっている。それ以前のことについては文献的資料がないが、補填する要素としては美術史の専門の方々の所見が備考に記されている。

丸顔で瞑想にふける表情、なで肩で厚みのない側面観、動きの少ない直立の体勢、腹前から両脚にかけてY字形に皺を浅く刻む点などから、本像は平安時代後期、12世紀の製作と推測される。

今日追加配布された資料を見ていると、愛知県春日井市の密蔵院「薬師如来立像」によく似ていると思う。比較写真は正面だけだが、眞福寺「阿弥陀如来立像」を見ていると体が薄いことが分かる。これは資料下段の鎌倉時代の阿弥陀如来立像と大きく異なる点である。

事前調査に立ち会われたということだが、53cmということは小さな仏像であったのか。

委員 とても可愛らしいサイズであった。

会長 一木造りの阿弥陀如来像はあまり聞いたことがなく、珍しいのではないか。小さなサイズということだが、持仏であった可能性はあるのか。

委員 今説明もあったように他のところからいただいたもので、どこから来たのかということとは分かっていない。しかしこの像自体は非常に良い出来のものである。

委員 西脇氏がどこかで購入したということはないか。

会長 詳しいことは分からず、仏師の記録も残っていない。阿弥陀如来なので説教所に置かれていたが、それ以前のことについては分からないとのことだ。

委員 配布された仏像一覧を見ていると、典型的なこの時代の仏像の様式を持っていそうであるから、仏師の流派が分かるような気がする。

会長 この調書を書かれた小野先生の調査によっては分かるかもしれない。平安時代というと、我々が想像するのが座った仏像であり、あまり立った状態のものはなく面白い。その辺りのことを調査していくと年代が分かってくるのではないか。

委員 表面の金箔は当時のものであるか。

事務局	<p>表面の金箔はおそらく古いものである。仏像が置かれていた本堂では灯明が焚かれていたので表面が煤けていたようである。後に明かりをLEDに変えたところ、だんだん煤がはがれてきて中から金色の部分が出てきたそうである。</p>
委員	<p>すごく保存状態が良いと感じる。説教所から引き継がれてということだが、自前で良い仏像があるので引き続き本尊として祀るというのはよくあったことであるのか。面白いと感じた。</p>
会長	<p>そもそも地域の説教所から引き継がれてというのはあまりない例である。道場からというのは非常に珍しい。</p>
委員	<p>説教所というのは道場であるのか。</p>
会長	<p>そうである。</p>
委員	<p>近世では自宅の書院のようなところに本尊を置き、そこに地域の人たちを集めて信仰したということがあったようだ。今回の仏像も小さいことから一般の在家で祀っていたということはあるのではないかな。</p> <p>一つお聞きしたいが、平安時代にさかのぼるような仏像は大垣市周辺によくあるのか。</p> <p>それから、今回は県審議会の小野先生が作られた資料であるが、この仏像が次の県指定にもなれるような評価をいただいているのか、大垣市の文化財として保護していくということなのか、所見をいただいていたら教えてほしい。</p>
事務局	<p>大垣近辺に平安時代の仏像はある。沢山ではないが市の指定にしてあるものも数件あり、もう少し古い段階のものもある。そちらは既に市の指定で県の指定にしたいという動きもある。まだ全部調査が終わっていないが、可能性としてはあるのではないかと小野先生から言われている。</p> <p>今回審議の仏像については市の指定までということで、県の指定にするという話はうかがっていない。</p>
委員	<p>一度指定直前になり、その時には防犯上の理由で辞退されたということだが、今回は防犯体制が整ったと聞いた。ものと住所が公表されて、ここに良いものがありますよとなると窃盗の心配も出てくると思う。防</p>

	<p>犯対策が整ったというのはどの程度のものであるのか。</p>
事務局	<p>昭和50年の段階では本堂は開けっ放しで古い建物であったが、今は建て替えられて戸締りもしっかりされているようである。寺院の方で防犯カメラと防犯ブザーを取り付け、本堂の隣には庫裏もあるため、かなり防犯対策は高くなっている。</p>
委員	<p>岐阜県は文化財指定の仏像を1メートルあたりのものを目安に大きいものを先に指定している。中にはもちろん小さいものもあるが、これからということだと思う。資料を見ていると類型に近いものが京都や愛知にもあるが、明確な様式や特徴があるものである。しばらくしたら県の指定にしても良いものではないかと思う。</p>
委員	<p>直接この仏像とは関係がないが、今回良い仏像が出てきたので提案したいことがある。よく市制〇〇周年等の区切りで各市町村の文化財を紹介する展覧会が開催されている。近場では岡崎市や浜松市がよく開催している。それが最近かなり評判が良い。浜松市で開催したものは浜松市中のお寺から文化財を出して展示するというもので、ものすごく来館者数が多かった。岡崎市は時期がコロナ禍だったため少なかったとは聞いているが、〇〇周年毎に市にどれだけの文化財があって、どうやって指定してきたかというのを見せる展覧会をやるというのはとても重要だと感じている。大垣市では(大きな規模の)郷土資料館を作っていないため、計画を立てられないのではないかと思う。大垣公園の再開発等に関連付けられるか分からないが、きちんとした美術博物館のような展示ができる施設があれば大垣市の歴史が紹介できるのではないか。現在大垣市には郷土館がある。そこでやるのも良いと思うが、そういった機会を作り、大垣市にはこういった文化財があるのだということ子どもたちからずっと住んでいる年配の方まで見せる機会があれば良いなということ今回調査に携わって思ったところである。</p>
委員	<p>先ほどの話の中でも、かなり良いものが大垣市にあるということで一度きちんとした調査や写真撮影を文化財の保存管理という観点からも出来たら良いなと思う。もちろん予算も労力もかかることなのでそれを見据えながらということである。今紹介のあった岡崎市や浜松市で行われた展覧会で文化財が出ていると、研究者の方が見に来られたりするが、その中に文化庁の調査官がこそっと見に来ているということも聞いたことがある。そこで国や県指定にすべきだというアドバイスをもらえるこ</p>

	<p>ともあるし、文化財の啓発という点でも、指定という観点での文化財保護という意味でもそういった展覧会は意味があるものである。</p>
会長	<p>同感である。大垣市は市の規模にしては博物館がなく珍しい。浜松市や岡崎市がそういった展覧会をできるのはきちんとした展示のできる施設や文化財を管理保存することのできる学芸員を置いているということがある。今郷土館の話も出たが、1点くらいは展示できるかもしれないが一堂に会して展示するのは無理な施設である。美術的な資料や歴史関係の資料がたくさんあるのに、市民は大垣市がそのような文化財が豊富にある街だということを意外と知らない。部分的には知っているかもしれないが、通史的に勉強できる場所が無いので残念に思う。</p>
委員	<p>適当な施設がないというのは仰るとおりだが、実際問題箱物を作るとするのは大変なことである。インターネット上で文化財や歴史資料を公開しているところもあり、それに関しても撮影やデータ収集をする必要はあるがそういった方法も良い。もちろん実物を見られるのが一番良いことではある。</p>
委員	<p>大垣市は美濃国分寺跡の場所に歴史民俗資料館があり、古い時代の紹介はそこで、大垣城下の時代については郷土館で、奥の細道に関しては奥の細道むすびの地記念館で、特徴的な輪中に関しては輪中館で、ということで、大垣市の特徴を示すようなものに関しては施設で展示をしてこられたことは良い取り組みであったと思う。総合博物館のような大きなところもあるが、経営していくうちにテーマに絞った展示にしていくところも結構あるため、どの形が大垣市にふさわしいか考える必要がある。ただ、国宝や重要文化財を陳列できるような施設があるということは、文化財の公開という点では非常に重要である。</p>
会長	<p>調書の中で眞福寺について、「浄土真宗大谷派」の寺院であると書いてあるが、正式には「真宗大谷派」であったと思うので、そこは訂正した方が良いと思う。それから「西脇氏が明治時代に没落していった」と書いてあるが、後の部分を見ると明治時代以降も西脇氏が説教所と関与していたと記述があるため、「明治に没落した」というのは消した方が良いのではないか。明治36年に説教所を建てられたとあるので、その直後というのは考えにくい。</p>
事務局	<p>現在の大井町の福田新田にあった屋敷が無くなったという意味で没</p>

	<p>落したと書いたのだと考えられる。いずれにしても指定の内容とは直接関係がない部分のため、「没落した」という部分は修正しておく。</p>
会長	<p>それでは指定については異議なしとする。次に答申書（案）について事務局から配付、説明をお願いする。</p>
事務局	<p>※答申書（案）を朗読</p>
会長	<p>ただいまの答申書（案）について修正等ご意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>「眞福寺」の「眞」は難しい方の字で良いか。調書は「真」となっているが変えなくて良いか。</p>
事務局	<p>調書の方も統一して修正することにする。</p>
委員	<p>念仏道場という言葉はこのままで良いか。一般的によく使われる言葉なのか。</p>
会長	<p>念仏を取ってしまうとどのような道場か分からなくなるためこのままで良いのではないか。</p>
委員	<p>下から4行目に「本像は、本仏像は」と言葉が重複している部分があるため修正した方が良い。</p>
事務局	<p>本像に統一する。</p>
委員	<p>先ほど聞くべきだったが、この念仏道場はどこが本寺だったのか。道場は寺から派生して存在する場所だという認識がある。本寺からお坊さんが来て道場で報恩講等の行事が行われていると思う。</p>
事務局	<p>説教所の本寺ということなら、住職である和田さんのお祖父さんの前の代の方もいるのでそのまま引き継いでこられたと考えているが、眞福寺に確認をしておく。</p>
会長	<p>大垣市史や大井町史などにも載っていないか。</p>
事務局	<p>大垣市史にもそこまでは載っていない。道場が開設されたというところ</p>

	<p>ろまでであり、大きなお寺の末寺等ということは記載されていない。大井町史は地元の方が作られたもので、こちらも同じくそこまで詳しくは載っていない。</p>
会長	<p>むしろ古い大垣市史(昭和5年版)の方が詳しく載っているのではないか。</p>
事務局	<p>安井町はその頃大垣市ではなかったため確認していない。</p>
会長	<p>了解した。文章としてはこのまま(本寺)にしておくより仕方ないためそこは修正しない。</p>
委員	<p>文章の中の表現であるが、調書の中に「制作」と「製作」の2つの表現が出てくる。どちらが適切か。</p>
委員	<p>美術品を示す場合は衣がない「制作」を使い、工業製品を作る場合には「製作」を使う。この場合では「制作」が正しい。</p>
事務局	<p>衣なしの「制作」に変更する。</p>
会長	<p>念仏道場というのは真宗道場とするとおかしいか。</p>
委員	<p>あまり聞かない。元々念仏道場は在家の人々が屋敷の中に書院などを作って本尊を設置し決まったお寺からお坊さんに来てもらうパターンもあれば、いろいろなお寺から来てもらうパターンもある。村の人たちを集めてとにかく念仏を唱える場だった。美濃の山村に行くと個人のものでなく村で所有しているお堂で「〇〇寺道場」と名前がついていることが多い。「惣堂」というものがあるが、それは村でお堂を持っていて在家で仏像を祀っていることが多い。三河地方では念仏道場や説教所から寺格をもらって昇格してお寺になることもあった。江戸時代初期くらいのことである。幕末になると三河では真宗が大きく力を伸ばすことから立派なお寺に変わっていったこともあった。調べると元禄以前は小さなお座敷風で立派な仏壇はなく、床の間が少し高いような仏壇だった。本尊もなく南無阿弥陀仏という文字が書かれた掛け軸があればそれで良いというのが本来の念仏道場であった。</p>
会長	<p>これまでに挙げた3カ所の修正でよろしいか。</p>

	<p>※異議なし</p>
事務局	<p>ではその通り答申書（案）を修正し、審議会終了までに再度配布する。</p>
	<p>4 報告事項</p> <p>(1)指定文化財の変更事項について</p>
事務局	<p>指定文化財の変更事項について報告</p>
会長	<p>ただいまの説明に何かご質問はあるか。</p>
委員	<p>西高木家陣屋跡や美濃国分寺跡は国の史跡だが、現状変更は国や県から提出されるものなのか。</p>
事務局	<p>市の方に権限移譲されているものであり市の方から提出する。10のおくのはそ道の風景地はき損届の範囲内で修復したものである。</p>
委員	<p>無何有荘大醒榭は移築されて10年ほど経つのか。</p>
事務局	<p>平成24年に完成したため、ちょうど10年程経つ。</p>
委員	<p>特に庇などは10年でこんなに傷んでしまうのか。</p>
委員	<p>庇は消耗品とも考えられる。屋根の茅葺もそろそろ傷んできたため20年くらいのスパンで葺き替えを予定しておかないといけない。</p>
委員	<p>風通しも良く、状態も良いように思うがそんなに傷んでしまうものなのか。</p>
委員	<p>どの建造物もそうだが、最近想定外の雨が降ることが多く以前より傷む速度が早い建物が多い。</p>
委員	<p>移築された当初は将来的には県指定も見据えてとのことだったが、そのあたりはいかがか。</p>
事務局	<p>現在のところは検討していない。</p>

委員	4の杭瀬川のホタルの調査は増水で中止になったとあるが、学校との連携なので延期して開催出来なかったか。
事務局	この時は現状変更許可期間の都合もあり中止となった。来年度以降、許可申請期間を長めに設定するなどして、荒天でも延期して行っていただけよう調整していきたい。
委員	川の護岸工事は、整備と文化財保護の関係から非常に難しい問題である。安全のため護岸は整備しなければいけないが、それによって天然記念物の生態に影響が出る側面もある。最近雨が沢山降るため、幅を広げるわけにもいかないの川を深くしようとしている。どこまで自然環境を守り、どこまで治水安全度を高めるか上手く折り合いをつけないとならない。ハリヨ生息地にも同じことが言える。
委員	9の西高木家陣屋跡だが、今後どのような形で修復をしていくのか。
事務局	石が落ちたところは早急に復旧を行う。今後全体的な調査を行い、必要であれば委員会などを設置して全体の補修を行っていく予定をしている。
会長	<p>※ここで、3 議題(1)「木造阿弥陀立像」に関する修正後の答申書が完成。委員に再度配付、答申書(案)を読み上げ。</p> <p>それではこの答申書(案)については、この内容で答申するというところでよいか。</p> <p>※異議なし</p>
会長	それではこのように、大垣市教育委員会に答申することとする。
事務局	<p>(2)令和5年度諮問予定物件について</p> <p>令和5年度諮問予定物件について概要を説明</p> <p>※明確に決まっている諮問案件は無いが、所有者等からの意向により調査中のものを説明。</p>

	<p>(3)美濃国分寺跡整備について</p>
事務局	<p>美濃国分寺跡整備について説明。</p>
委員	<p>整備活用委員会が開かれるとのことだが、何か上に建物等建つ予定があるのか。</p>
事務局	<p>建物を建てる予定はないが、アスファルトの色を変えてかつてそこに建っていたものを示すなど分かりやすくする工夫や、公園整備としてベンチや人が休める場所は設置する予定である。</p>
委員	<p>参道等についても復元予定はないものか。</p>
事務局	<p>参道等についても建物の復元の予定はない。</p>
	<p>(4)大垣祭軸（布袋軸）復元新調（進捗状況）について</p>
事務局	<p>大垣祭軸（布袋軸）復元新調（進捗状況）について説明</p>
委員	<p>撮影記録はDVDにして残す予定はあるのか。</p>
事務局	<p>撮影は静止画のみで動画撮影は行っておらず、DVDにする予定はない。</p>
委員	<p>文化財保護法では無形文化財は動画で残すというのがある。今回は無形文化財ではないが、せっかくの機会なので小学生に見せたりできたら良いなと思った。</p>
	<p>(5)昼飯大塚古墳追加指定について</p>
事務局	<p>昼飯大塚古墳追加指定について説明</p>
委員	<p>墳丘の裾の部分まで確認されているのか。</p>
事務局	<p>その部分は掘っていないがすぐ左の部分は掘っているため、確実に墳丘の一部であると確認できている。現状では全部削られているので、現在確認することはできない。</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>掘らないで整備に進むのか。</p> <p>文化庁と協議して掘らないということになった。</p> <p>5 その他</p> <p>※委員からは特に発言なし</p> <p>6 閉 会</p>
<p>特記事項</p>	